

【外商統括分会】

支部11期テーマ

「メンバー一人ひとりの幸せのため、
個の想いを大きな力に変えていこう」

前半年度
分会活動テーマ

自分たちで創り出す
”働きやすさ””働きがい”をもとに、
魅力ある・憧れられる外商統括部につなげる

<重点取り組み>

兼任執行委員が
やるべきこと

専従執行委員が
やるべきこと

支部 重点項目

主体的な
Voiceサイクル

信頼感を持った
経営との対話

分会独自

重点項目
アクション宣言

【全体】正売・笑売・省売 3つの「しょう」を意識した働き方改革の推進を行います

<個人外商セールス>

- 現場のリアルな声収集にむけて、メンバー起点のテーマ別VOICEを実施します(伊)
- MIルールに沿った働き方改善に向けた取り組みを実施します(三)

<法人外商>

- 組合役員全員の役割を明確化し、効率的な組合活動を実践します。

【全体】分会労使間の意思疎通を基盤としながら、各職場区労使の議論を行います

<個人外商セールス>

- 労使協議により「会社がするべきこと」「メンバーがするべきこと」を整理し、効果的な現場改善につなげます(伊)
- 会社側に根拠や理由を明確にして「伝え」、お互いが「共感できる」コミュニケーション作りを行います(三)

<法人外商>

- 組合役員全員参加による職場懇話会を行い、「何でも話し合うことが出来る雰囲気」をつくります。

- 職場区ごとの特性に合わせた現場活動をおこないます。

【全体】兼任主体の「聴く」活動に取り組みます

<個人外商セールス>

- 仮説をもったメンバーニーズのテーマ別VOICEを行い、現場の実態を役員全員で把握し、具体的な会社に対し具体的な提言を行います。また会社への投げかけとともにメンバーの意識改革に向けた取り組みも行います(伊)

- 「聴く」、「話し合う」質の向上と、問題に対する根本課題確認のため、全ての聴くに「なぜなぜ確認」に取り組み、その声をもとにした職場委員会での議論を実施します(三)

<法人>

- 役員全員が職場委員会の100%出席を目指すことで現場の思いを役員間で共有し、会社への要望を行って具体的改善につなげます。

【全体】年3回の「分会労使懇話会」を実施し、分会労使の議論の場をつくります

<個人外商セールス>

- 会社とメンバー間の捉えの「ギャップ」埋めるために、定期的な懇話会を実施して実態共有と提言を行い、「会社が把握していない状況」を確認し、改善につなげます(伊)
- 四半期に1度の職場懇話会の開催において、兼任役員も同席し、現場の声を直接伝えます(三)

<法人外商>

- 執行部による話しやすい雰囲気づくり(ex部長紹介広報作成)と職場懇話会において兼任役員全員で発言することで、参画意識を向上させます。

- 「働き方の改善」「やりがい向上」「納得度向上」など、それぞれの職場課題解決に向けた活動計画を推進します。

【全体】組合役員チーム内と、組合員に向けた存在意義向上を目指します

<伊勢丹外商>

- 役員全員で「職場改善」のための声の吸い上げと議論をおこなえるよう、役員チームと現場へ発信声掛けを行います。

<三越外商>

- メンバーへの積極的な声掛けと根本課題の確認を行い、認知度向上に繋がります。

<法人外商>

- メンバーに寄り添って声を「聴き」、職場委員会で主体的に「話し合い」、会社に対してメンバーの代表として積極的に「伝える」ことを行います。

【全体】職場区リーダーのサポートを行います

<伊勢丹外商>

- 支部共通や本部の活動の発信とりまとめをおこないます。

<三越外商>

- 各担当ごとの役割分担と方向性の明示を行い、活動に対する労使間の調整を行います。

<法人外商>

- 兼任役員が主体的に活動できるための全面的なサポートを行います。

- VOICEサイクルの活性化の下支えと、メンバーにとってわかりやすい広報物作成による「知らせる」の推進を行います。